



高浜市の未来を描く市民会議

ニュースレター 2010. 6. 30(水) VOL.7



事務局:高浜市地域協働部地域政策グループ 高浜市青木町四丁目1番地2 TEL0566-52-1111(内線 352)

「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」 市民会議としての将来都市像案が決定しました!

5月31日(月)高浜市役所にて7回目の市民会議を開催しました。参加者は、107人でした。

この日のテーマは「第6次総合計画の『将来都市像』をみんなで決めよう」

「将来都市像」とは高浜市がこれから10年先を見据えた大目標(看板)にあたります。前回の市民会議で皆さんから提案のあった110件の候補の中を事前投票(1人3票以内)していただき、受付で回収、その場で開票し集計結果を発表しました。上位3位の合言葉が掲示されると場内ではどよめきがあがり「これは私も選んだよ」と弾んだ声も多く聞こえました。それぞれの案を読み上げて、目で感じ、耳で感じた上で感想を述べていただき、上位3つの中から1人1票ずつ投票していただきました。結果が僅差だったので再度決選投票をし、以下のような結果になりました。

市民会議の将来都市像候補	事前投票の結果 (114人/327票)	投票(1回目)	投票(2回目)
輝く未来へ 笑顔あふれる 大家族都市 たかはま	22票	40票	43票
みんなで支え合うまち 大家族「たかはま」	13票	24票	
思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま	12票	39票	59票

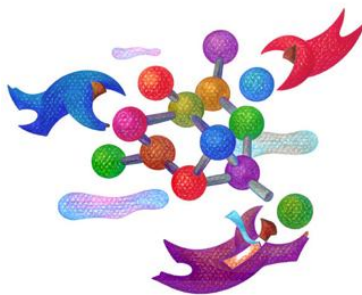
市民会議としての将来都市像案は「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」に決定しました。場内は賛同の拍手が起こり活気があふれていました。(2面に写真掲載しています)

思いやり

一人ひとりが、高浜市に関心と愛着をもっていこう。お互いの立場を理解・尊重し、対等で、心の通いあう関係を築いていきたいな。

手と手をつなぐ

個性の異なる者同士がつながりあい、交流を育みながらコミュニケーションを豊かにし、ネットワークを築くことでまちに多様性が生まれます。それらを高浜市の成長・発展に向けての大きなエネルギーにしていけるといいな。



支え合い

お互いに心を通わせ、助け合い、補完しあう。子どもからお年寄りまで、事業者や団体も含め、一人ひとりが持っている力や資源(知恵、技能、笑顔、産業、活力 etc.)を伸ばし、高浜市づくりのために出し合い、みんなで高浜市を支えていきたいな。

大家族たかはま

「個々の力でできることは個々で行う」「地域のみんなで力を合わせればできることは、その中で行う」「地域のみんなで力を合わせてもできないことは、高浜市全体で行う」という考え方のもと、みんなで高浜市のことを考え、行動に移していく、「市民自治都市」をみんなでつくり上げていきましょう!

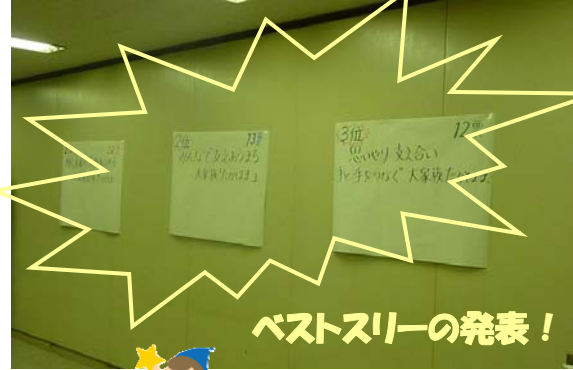
◆中川幾郎先生(総合計画審議会会長)よりコメント

- これから10年先に向かって心がける目標が決まった。「思いやり」というのは、心がけという精神論ではなく、仕組み。「思いやり」は、対等な心の通う関係=「パートナーシップ」。
- 市民はもちろん、職員も、まち協も、議会も、みんな家族の一員であり、全てが集約されて家族になる。「大家族たかはま」は、団体自治も住民自治も含めた「自治体高浜市づくり」である。
- エネルギーが集約された、高浜市らしい市民の手づくり感あふれる、大変良い将来都市像になったと思う。

市民会議 フォトグラフ

◆ 事前投票の集計結果発表 (投票者数 114 人・有効ポイント数 327 票)

- 第1位 “輝く未来へ 笑顔あふれる 大家族都市 たかはま” 22票
- 第2位 “みんなで支え合うまち 大家族「たかはま」” 13票
- 第3位 “思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま” 12票



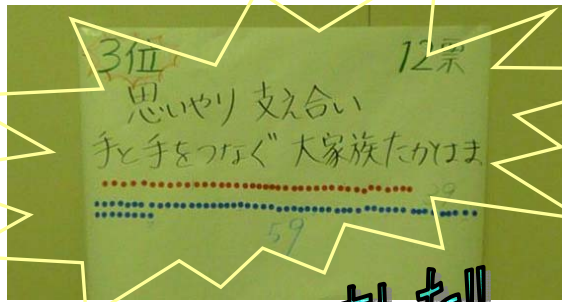
合言葉を読んでいただきました



決選投票の前に応援演説をしていただきました



どれに決まるかな?



決定しました!!



◆ 投票結果

- ③ 「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」 59票
- ① 「輝く未来へ 笑顔あふれる 大家族都市 たかはま」 43票

→ 「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」が
市民会議としての将来都市像案に決定しました!



各分科会の活動状況についてお知らせします！

大きなテーマ：協働自治

みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

自治基本条例分科会

みなさんにお願ひしたアンケート

「自治基本条例の全体像を考えよう」の結果を参考に、検討を進めてきました。条例を少しでも身近に感じてもらえるよう、高浜市の条例では初の「です・ます調」を提案します。「みんなの共通ルール」「まちづくりの道具」として活かしていくために「条例をみんなに広めよう作戦」と題してアイデアも出し合っています。次回、自治基本条例分科会としての素案を発表しますが、「自治基本条例をもっと知ろう」と題して、別途機会を設けてみなさんと意見交換したいと考えています。まずは、市民会議のメンバー一人ひとりが“条例普及の伝道師”として活躍していただけるようになることが私たちの願いです。今後は「解説パンフレット」の作成を進めていく予定です。

行財政分科会

元気で活気に満ちた地域づくりを目指し「市の経営」「財政」「市民とともに創るまちづくり」の3つの視点からそれぞれの課題を出しあい、取り組む事業や指標の検討を進めています。素案完成に向けて議論も熱をおびて毎回打合せがその日に終わるか戦々恐々としている状態です。熱い議論から生まれてくる素案に乞うご期待！

大きなテーマ：教育・子ども

学びあい 力を合わせて 豊かな未来を育もう

教育分科会

安心して子どもたちを心身ともに健やかに育むためには、「学校」「家庭」「地域」の連携を強化して、みんなで育てる環境づくりが必要であると強く感じています。その環境づくりのために、学校、家庭、地域の教育力アップ、学校、家庭、地域のネットワークづくり、学校の建替などについて具体的な意見が出ています。それらの意見を総合計画に反映させ、教育基本構想に取り込めるよう検討しています。

生涯学習分科会

みんながお互いに学び、知り、教え、成長し、未来に向けた循環型の生涯学習を目指し、なかでも子どもを高浜市の生涯学習という大地の「根っこ」と捉え、夢と希望をもって子どもが青少年から社会人へと成長し、育てる大人も、そして高浜というまち自体も大地から大きな大樹のように成長しながら、次世代につなげていく姿をイメージして、具体的な取り組みやしきみについて引き続きアドバイザーの岩崎正弥先生（愛知大学三遠地域連携センター長、経済学部教授）とともに意見を交わしています。

子育て・子育て分科会

ワークショップを通して、自分たちの子どものころや、今の親子の様子などについて、話し合いを深めてきました。せっかくの計画なので、多少不恰好なところがあったとしても、自分たちの思いのこもったものを作ろうと、分科会を重ねてきました。地域社会が手を携えて、自分自身やまわりの人、地域などに誇りや愛着を持てる子どもを育てていきたいと思っています。

大きなテーマ：活力創造

明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

産業分科会

市内の事業者さんからのアンケート結果をもとに、市民メンバーと職員メンバーが現実的な視点で議論を重ねてきました。「三州瓦の産地として伝統を継承し、発展させていくには？」「高浜らしい農畜産業のあり方とは？」「新たな名産品を生み出す方法は？」「地域での取り組みがコミュニティ・ビジネスとして発展・継続するには？」「元気なまちにするには？」「誰もが『働ける』『働きやすい』仕組みをつくるためには？」など、《大家族たかはま》を支える分科会として、頭を悩ます場面も多いのですが、いつもとても活発な意見交換が繰り返されています。

環境分科会

きれいなまちを目指して、市民、事業者、行政がそれぞれの立場で役割を認識し、環境への意識の高い、他のモデルになれるような高浜市のあるべき姿を創るために議論を深めています。環境版ワールドカフェで確認した現状の課題について、「法令遵守」「永続性」「市民参加」を柱にしてみんなでできることから取り組み、将来を見据えた環境負荷軽減、そして人材育成も含めた仕組みにつなげたいと考えています。

都市基盤分科会

「住んでみたい、住みやすい、そして住み続けたい高浜市」を目指して分科会活動を重ねています。ワークショップでは特に8項目（道路、公共交通、公園、緑化、景観、防犯・防災、交通安全、消防）を議題に上げて議論を深めています。地域のやる気が活かされ、愛着の持てるまちづくりに向けて、市民と行政が役割分担しながら協働を進めていきます。

大きなテーマ：福祉・健康

いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

地域福祉分科会

分科会では高浜市民みんなが一人ひとり役割を持ち、お互いに助け合う家族のようなまち『大家族たかはま』を目標に現状と課題を含めた達成のための方策・手段について話し合っています。「人と人とのつながりが充実し、お互いを認めて支えあえるまち」「笑顔の輝くあいさつが交わせるまち」「ともだちを100倍に増やそう！」等みんなの熱い思いを盛り込んで具体化していけたらと思います。

健康分科会

タカハマ・カフェにならって毎回お茶を囲み、笑顔の絶えないアットホームな雰囲気と、出席率の高さが自慢の健康分科会です。リーダーを中心に全員がそれぞれの活動や経験、思いを語り合うことで幅広い世代と豊かな経験が活かされた多くの意見が集まりました。今後は、笑顔がつながる、みんながいきいきと暮らせる、そんな未来の実現に向けて、アイデアを練り上げていきます。

編集後記

ついに、市民会議としての将来都市像が決定しました！110件の候補全てが素晴らしく、どれに決まってもおかしくないものばかりで、どれに決まるか興味津々！！1回の投票では決まらず、急遽2回目の決選投票。開票中にはどよめき上がり、将来都市像が発表されると拍手が自然に沸きあがりました。応援演説で「次の10年として先を見たとき、この先ずっと、永遠の課題という感じではなく、ある程度区切りもあって、具体的にこうしたい、実現できそうだという気持ちも入っている」という発言があり、『私たちのまちを良くしていこう、実現させよう』というみなさんの熱い思いを感じました。実は興奮のあまり、一緒に拍手をしていてカメラを構えるのを忘れていました。（笑顔いっぱいの子スリットが撮れそうだったのに、すみません…）これからは素案が積み上がり、中間発表に向けて活動はさらに活発になっていきます。お忙しい中、ハツラツと会議に集われる様子を拝見すると職員も気合が入ります。（K.K）

